

JICA 教師研修 学習指導案・授業実践報告書

【実践者】

氏名	浅原 規貴	学校名	長野県 安曇野市立豊科南中学校
担当教科等	英 語	対象学年（人数）	3 年 1 組（37 名）
実践年月日もしくは期間（時数）	令和3年12月（7 時間）		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域：英語科		
2. 単元(活動)名：Unit 6 Beyond Borders （NEW HORIZON 3 東京書籍）		
3. 授業テーマ（タイトル）と単元目標 授業テーマ：「国際貢献のあり方とSDG s の達成に向けて」 単元目標：なぜ国を超えて助け合うのか。どのようにして良い関係を築くのか。自分にできることは何かを考える。 関連する学習指導要領上の目標： （1）教科書本文だけでなく、関連する題材の資料も読み取る活動を通して、課題の発見やその解決に必要な知識や技能を身につけることができる。 （2）読み取ったことや得た情報を元に、自己の生活と照らし合わせて考え、見直し、表現したり、実践に結び付けられたりできるようにする。 （3）クラスメイトと意見交換し合うことを通して、課題に対しての理解を深め、自分ごととして捉え、実践しようとする態度を養う。		
4. 単元の評価 規 準	①知識及び技能	使用しなくなったランドセルをアフガニスタンに送る英文やバナナペーパーに関する英文の内容を読み取ることができる。
	②思考力、判断力、表現力等	国を超えて助け合う方法には、寄付をしたり、物資を送ったりするだけではないことに気づくことができる。
	③学びに向かう力、人間性等	国を超えて助け合うことの必要性や大切さを理解しようとしている。また、その実現のために自分は何ができるかを考え、表現しようとしている。
5. 単元設定の理由・単元の意義 （児童／生徒観、教材観、指導観）	【単元設定の理由】 教科書最後の単元として国際協力、相互協力、相互援助というテーマが取り上げられている。具体的な内容としては、日本の使用したランドセルをアフガニスタンに送るという取り組みを紹介する英文を読む。世界には、学校に通えず、読み書き等基礎的な知識を学べない子どもたちの存在があり、その子たちを、国境を超えて支援する意義について考えるいいきっかけとなる教材である。また、日本は多方面に渡り、海外との相互依存に頼る面が多く、他国との関係を健全に保ち、また、自分には何ができるかということを考える機会になりうるとして本単元を設定した。 【単元の意義】 世界には援助が必要な地域があり、そういった人がいることを知ること自体、生徒の視野を広げるために意義のあることである。募金や寄付をすることや、自分が使用したランドセルを海外の人に送るといった援助方法だけでなく、様々な形態での援助の仕方があること、そして、一方的な援助ではなく、現地の生活状況を考慮した上での援助・協力のあり方の1つを学ぶことができると考える。	

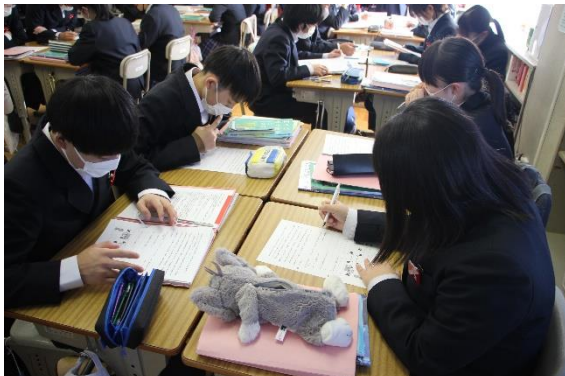
【児童／生徒観】 本学級の生徒は授業中にはおとなしく、教師の問いかけに対して表に出して反応することが少ない集団である。また、特に英語を用いて表現することに恥ずかしさや抵抗感をもっている生徒が多いようで、受け身の英語の時間になってしまっている。 一方、グループ活動のように、小集団にすると互いにリラックスして話せるようで、活動が活性化する。本単元においても、ペアやグループ活動を通して、生徒の考えや表現を引き出したいと考えている。 また、世界の現状については知らないことが多いようであるが、教師からの情報提供や問いかけを素直に受け入れ、興味をもって考え、答えを出そうとする真面目な取り組みが期待できる生徒たちである。 【指導観】 貧困や教育、福祉、エネルギー、環境などあらゆる観点において、格差や不平等が解消されるように、まずは現状を知り、課題をつかみ、解決に向けて行動できる生徒を育てたいと考えている。それはSDG sの達成に他ならないが、そのための1つのツールとして英語の習得があるのではないか。そういう立場で日常から授業を実践しているつもりである。特に本単元は日本と世界のつながりを知り、国際協力・相互協力・援助について考えるきっかけとなる題材が扱われているので、生徒が自己の将来についても考える機会にもなるようにと願っている。				
6. 単元計画（全7時間）				
時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	School backpacks travel overseas No. 1	- 世界には学校に通えない子どもたちがいることや教育に関わる物品が足りない現状を知る。 - 身近なもので援助できることを知る。	- 世界には学校に通えない子どもたちがたくさんいることを知る。 - ランドセルをそのような子どもたちに贈る活動の広告を読み取る。	教科書 p 9 1 「ランドセルは海を越えて」 「7年目のランドセル」
2	School backpacks travel overseas No. 2	ランドセルを海外の子どもたちに送る活動について詳しく知る。	- アフガニスタンにランドセルを贈る活動に関する対話文を読み取る。 - 世界の子どもたちへ、他にどのような支援方法があるか考える。	教科書 p 9 2 「ランドセルは海を越えて」 ウェブサイト
3	Paper that was made from bananas	- バナナから紙が作られることを知る。 - 日本の和紙製造の技術が使われていることを知る。	What do you know about bananas? バナナの写真を見て、バナナに関する事柄を英語で言い合う。（4人1組のグループ活動） - バナナに関する資料を読み取り、書かれている3つの事実について伝え合う。 - バナナから紙が作られていることを知る。（実物を手に取って観る。） - バナナのどの部位が紙になるのか資料から読み取る。	バナナペーパー（はがき、ノート） 高校教科書 『Power On 1』
4 本時	Banana paper project in Zambia	なぜザンビアのバナナを使って紙を作るのかを読み取ることを通して、援助・貢献のあり方を知る。	Why did the company start the project in Zambia? - なぜザンビアのバナナから紙を作るのかを資料から読み取る。 - その事業がエンフエ村にどんな良さをもたらしたかを考える。	バナナペーパー（はがき、ノート） 高校教科書 『Power On 1』

5	School backpacks change children's lives	・ランドセルを贈ることの意義を知る。	・学校で学ぶ意義やランドセルを贈る意義に関する資料を読み取る。	教科書 p 9 4
6	Japan depends on other countries	・日本は他国に依存して生活が成り立っていることを知る。	・なぜ支援をするのかを知るための資料を読み取る。	教科書 p 9 5
7	To know about some support groups	・世界に向けて支援活動をしている団体やその活動内容について知る。	・他の支援方法や支援団体について知る。 ・One Planet Café や JICA の活動について調べる。 ・丸森町の草の根活動について紹介する。	インターネットにて

7. 本時の展開（4 時間目）

本時のねらい：バナナペーパープロジェクトによってエンフエ村の課題が解決された資料を読み取ることを通して、寄付や物資を送る以外の国際援助や貢献の方法やあり方に気づく。

過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 前時の復習 (5分)	1. 前時の復習 We learned some interesting and surprising facts about bananas. They're very popular fruit not only in Japan, but also in the world. They grow in hot places, so almost all the bananas come from foreign countries. Japan imports bananas from foreign countries. Which country do bananas come from the most? — From the Philippines. And the name banana comes from Arabic word "banan." What does it mean? — finger. Do bananas grow on trees? — No, they don't. They grow on huge herbs. (picture) We learned one more surprising fact. Look. (paper) We can make paper from them. But which part do we use to make paper? — Stems. After bananas are harvested, the stems are cut down, and they become just wastes. But a Japanese company changed banana stems from waste into a sustainable resource. Wow, amazing! The techniques for making <i>washi</i> are used to make banana paper. We learned almost all the bananas come from the Philippines. But the company started the banana paper project in Zambia, one of the countries in Africa. Why did the company start the banana paper project in Zambia? Nobody knows about Zambia well, so I'll introduce Zambia a little. 2. ザンビアの紹介 Do you know anything about Zambia? 3. なぜザンビアでバナナペーパー事業を始めたのかを考える。(予想する。)	・日本で食べられているバナナの 80% 以上はフィリピンから輸入されていること。 ・「バナナ」という語はアラビア語の「指」を表す <i>banan</i> という語に由来すること。 ・廃棄されるバナナの茎が持続可能な資源になること。 ・日本の和紙づくりの技術が活用されていること。 ・ザンビアでバナナペーパー事業が行われていること。を確認する。 ・私たちの生活とは異なる様子や野生動物等の映像を元に、課題に気づけるようにする。	写真 資料画像
展開 資料の読み取り (35分)	<Today's Goal> Why did the company start the banana paper project in Zambia?		

まとめ 援助の仕方、あり方 (10分)	・生徒は4人1組のグループで考えを出し合う。 →クラス全体でシェア	・多様な予想を出させるようにする。	『Power On 1』
	<Today's point> What are the good points of the project for Mfuwe Village? 4. 資料の読み取り ア. 第1パラグラフだけを読み取る。(プロジェクト開始以前のエンフエ村の様子) イ. 第2パラグラフを読み取る。(プロジェクトがエンフエ村にもたらした変化の内容) 5. このプロジェクトの良さは何でしょう。 ・生徒は4人1組のグループで考えを出し合う。 →クラス全体でシェア 	・プロジェクトの開始前後の様子を比較できるようなワークシートを用意し、読み取り易くする。 ・現地で雇用を生み出すこと、廃棄されるものを利用すること、日本の技術が生かされていることに気付かせる。	
8. 評価規準に基づく本時の評価方法 ・資料の内容を正しく読み取れたかどうか、ワークシートへの記述の様子から判断する。 ・なぜエンフエ村でプロジェクトを始めたのかを予想し、クラスメイトとその考えを共有できているか、グループ活動の様子から判断する。 ・プロジェクトがエンフエ村にもたらしたメリットを理解し、現地の課題に合わせた援助・貢献の仕方について理解できたかどうか。ワークシートへの記述から判断する。 ・本時の目標達成に向けて、資料を読み取ったり、クラスメイトと意見交換しようとしていたりしているかどうか、活動への取り組みの様子から判断する。			
9. 学習方法及び外部との連携 ・JICA長野デスクの木島史暁さんにバナナペーパーのSDGsシールを生徒1人1人に戴いた。手元に実物があることでそのことが身近に感じられ考えやすくなるというアドバイスをいただいた。			
10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組 次年度の生徒会ではSDGsに基づいた活動を計画している。生徒がより主体となってSDGs達成を意識した活動が展開されることを応援したいし、授業ともリンクしてより強化されていくことが望まれる。			
【自己評価】			
11. 苦勞した点	特にありません。		

12. 改善点	(1) 生徒の活動時間の確保 バナナペーパーに関する英文の読み取りの時間をもっと取るべきであった。350～450語程度の英文を1時間で2つ読み取り、それを元にグループで話し合うという活動であったが、短時間での読み取り、話し合いはともに消化不良であったかもしれない。とくに英語を苦手とする生徒にとってはかなり大変であったと思われる。 (2) 国際関係やSDGsに関わる事柄を取り上げる明確な年間計画 新学習指導要領実施に伴い、教科書が新しくなった。東京書籍のNEW HORIZON3はSDGsがテーマとなっており、福祉、文化、環境、災害、差別そして国際協力など、関連する題材が扱われている。教科書本文の内容理解をするだけでなく、SDGsとのつながりを学ぶような仕組みをつくって授業展開をしていくことで、より英語を学ぶ意義がはっきりとし、英語学習へのモチベーションの高まりが期待できると思われる。 (3) 同じ地球に住む仲間としての視点 教科書本文からは、食べ物を始め身の回りには外国製品が多く、日本は外国との貿易に頼っているし、外国も同様である。相互依存しているのもより良い関係を築き、助け合い続けていくことが必要であるという内容である。だから、生徒の記述にも「なぜ他国を支援するのか」という問いに対してはそのことを書く生徒が多かったのだが、もっと「人道支援」という観点を前面に出した展開にすべきだったと思う。日本でも「相対貧困」と呼ばれるものがあるが、私たちの生活とは大きな格差があり、きれいな水や食料が手に入らず、病気で苦しむ人々も多い。仲間を助けるといった視点をもっと強調すべきであったと思われる。
13. 成果が出た点	(1) バナナペーパープロジェクトを紹介できたこと バナナは1年中、安価で手に入れられて、甘くておいしく、栄養価も高い身近な果物である。総務省の統計によると、1年間に1世帯が支出する金額の多い果物の1位がバナナであり、りんごやみかんより多い。暖かい地域で生育するために、日本でも栽培されてはいるが、殆どは海外からの輸入品である。同じく総務省の統計によると、その約80%はフィリピンからであり、次いでエクアドル、メキシコと続くということを紹介することができた。私たちの生活が外国との貿易に頼っている1つの事例となった。 バナナから紙が作られることを知っている生徒がクラスで1人いたが、他は初めて聞くことだったようである。しかも皮や葉からではなく、茎の繊維が使われるということ。それ以前に、バナナは木になるのではなく、大きな「草」であり、収穫後、毎年刈り取られて処分されてるということは初耳だったようであり、好奇心を刺激したと思う。そのことを自分たちで英文から読み取ったことも自信になったようである。 (2) なぜバナナペーパー事業をザンビアで始めたのか ネットで得た、ザンビアの名所や主要産業、野生動物、人々の生活ぶりがわかるような画像を見せた後で、グループワークを行い、この発問をし、予想をした。出された答えは以下の通りである。

	「仕事を与えるため」「日本人が技術を教えるため」「貧しいから」「バナナが良くとれるから」「正当な賃金を払える」「資源の無駄をなくすため」「両国とももうかって幸せ、win-win」「お金をかせぐため」「バナナの生産量が多い」 すぐに核心をつく「仕事を与えるため」が出されたことに驚いたし、win-win という発想が出されたことも、社会科での学習等が役立っており、今回の学習が中学3年生のこの時期だからこそ理解できたことだと感じた。次の項目の欄に載せてあるが、「その場所ですることによって問題を解決していること」という記述があったことから、国際協力、国際支援のあり方を理解できたと思われる。
14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	○本時の終末での発問「このプロジェクトの良さは何でしょう」に対する生徒の記述 「日本とザンビアが交流するきっかけになった。」 「日本の伝統的な技術が世界の人たちのために活用できる。」 「環境にやさしくて、動物にやさしくて、仕事が生み出されること。」 「資源の無駄を減らし、持続可能な社会への架け橋となるプロジェクトである。」 「Mfuwe Village の人はお金を得られる。日本人はペーパーを作れる。」 「Win-Win、みんな幸せになれる。」 「お互い支え合って生活していく大切さを知れる。」 「SDG s に貢献している。」 「その場所ですることによって問題を解決していること。」 ○単元の終末での発問 “Why do we help people in other countries?” に対する生徒記述 • I think helping each other is very necessary for us because our relationships with foreign countries are becoming more and more interdependent. • Japan depends on foreign trade. If Japan stopped importing things, we couldn't survive. • Because it's important to help each other. • Because we can't live without relationships with foreign countries. • I think that our borders are only lines on a map. Also, Japan was helped by other countries many years ago. • We have to interdepend with other countries. We are helped by other countries. Also we have helped other countries. So it's necessary for us to continue helping each other.
15. 授業者による自由記述	今回は教科書のアフガニスタンへランドセルを贈る活動と、ザンビアでのバナナペーパー事業を結びつけて国際協力や支援のあり方について考える単元展開を考えた。既にランドセルを寄付したという生徒も1人いたが、多くはこの活動を知らず、ランドセルは押し入れの中で眠ったままである。私自身、この活動を知らなかった。 バナナペーパー事業がエンフエ村で雇用を生み出し、それまでの問題を解決し、SDG s の達成に貢献していることを英文の読み取りから知ることができた。バナ

ナから紙が作られていること自体新しい事実であった。

今回の授業を通して、たくさんの知らないことを知ることができたし、少しは世界に目が向けられたと思うが、実践が伴っていない。学習を通して、「私は何ができるか」まで落とし込んで考え、できることから実践していくことが大切である。直接的に支援活動をするのでなくとも、今自分がやるべき学習に一生懸命取り組んだり、給食を残さず食べたり、周りにいる人に親切にしたり接したりすることが、支援につながっていくことと考える。

本時の前の授業の終わりに、「ランドセルを贈る以外に支援する方法としてどんなことが考えられるか」と問うと、「JICAの青年海外協力隊員となる」という答えがすぐに出された。世界の現状を知り、英語を始め各教科を一生懸命勉強し、部活動などで身体や心、芸術性を高め、近い将来、世界に飛び出していくような人材を育てることが私の目標（夢）である。私は私のできることで生徒を育て続けていくことが、外国の困っている人々を支援することになると信じている。そのために、今回のような研修に参加させてもらい、学び続け、生徒に還元できるようにしていきたいと思う。たくさん学ぶ機会をいただきまして本当に感謝いたします。

参考資料：『Power On 1』東京書籍

One Planet Café：<https://oneplanetcafe.com/>

ランドセルは海を越えて：<https://umigoe-randoseru.com/>

農林水産省：https://www.maff.go.jp/j/heya/kodomo_sodan/0302/03.html

<1年間に1世帯が支出する金額の多い果物>

1位・・・バナナ 4,113円 

2位・・・りんご 3,928円 

3位・・・みかん 3,766円 

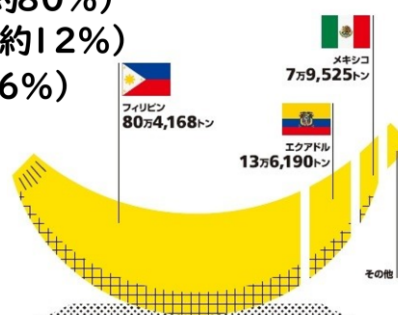
2018（平成30）年の総務省家計調査

<バナナの国別の輸入量>

1位・・・フィリピン（約80%）

2位・・・エクアドル（約12%）

3位・・・メキシコ（約6%）



財務省貿易統計2020

<3年 Unit 6>

What else can we do to help people in need around the world?

世界の困っている人々を助けるために他にどんなことができるだろうか。

<1年間に1世帯が支出する金額の多い果物>

1位・・・バナナ 4,113円



2位・・・りんご 3,928円



3位・・・みかん 3,766円

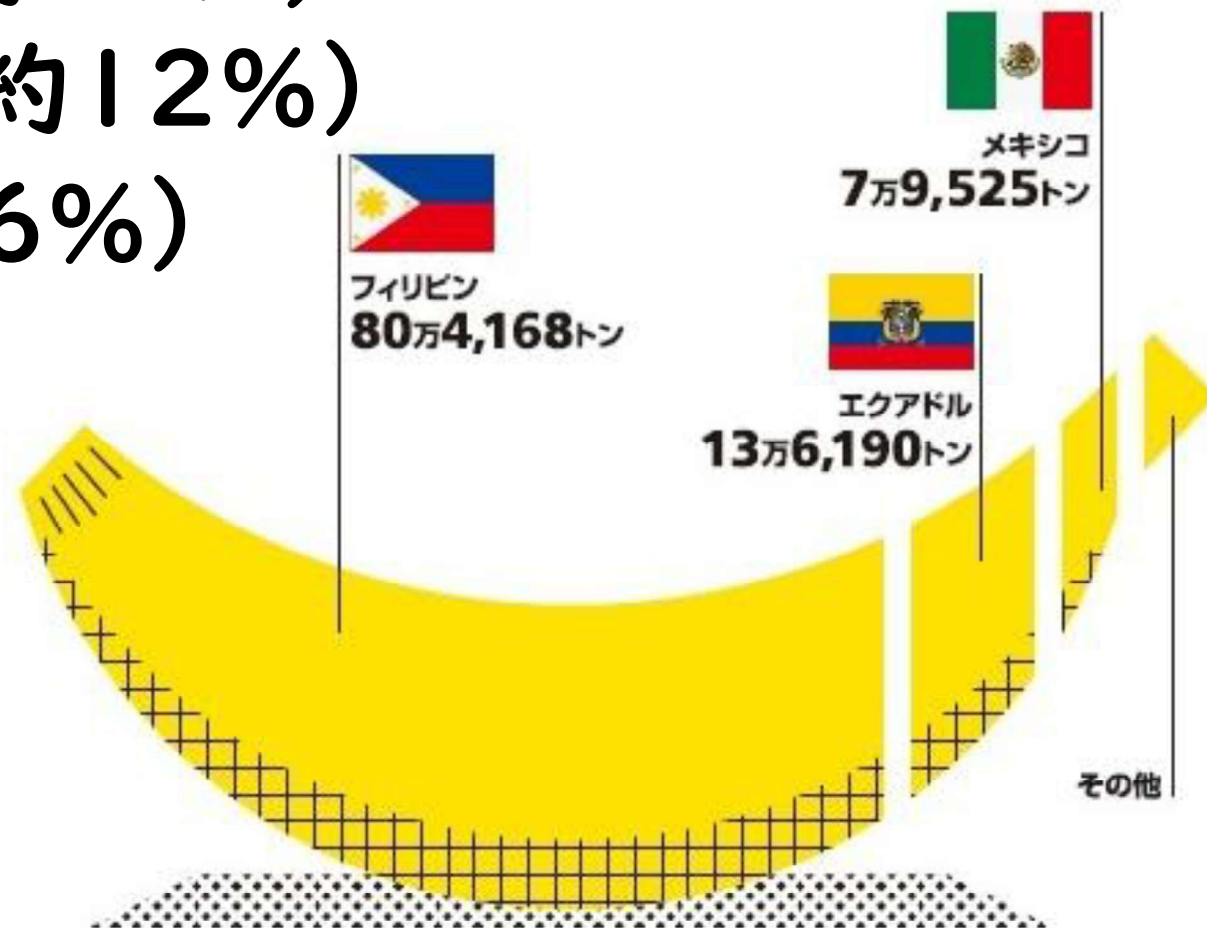


2018(平成30)年の総務省家計調査



<バナナの国別の輸入量>

- 1位・・・フィリピン（約80%）
- 2位・・・エクアドル（約12%）
- 3位・・・メキシコ（約6%）

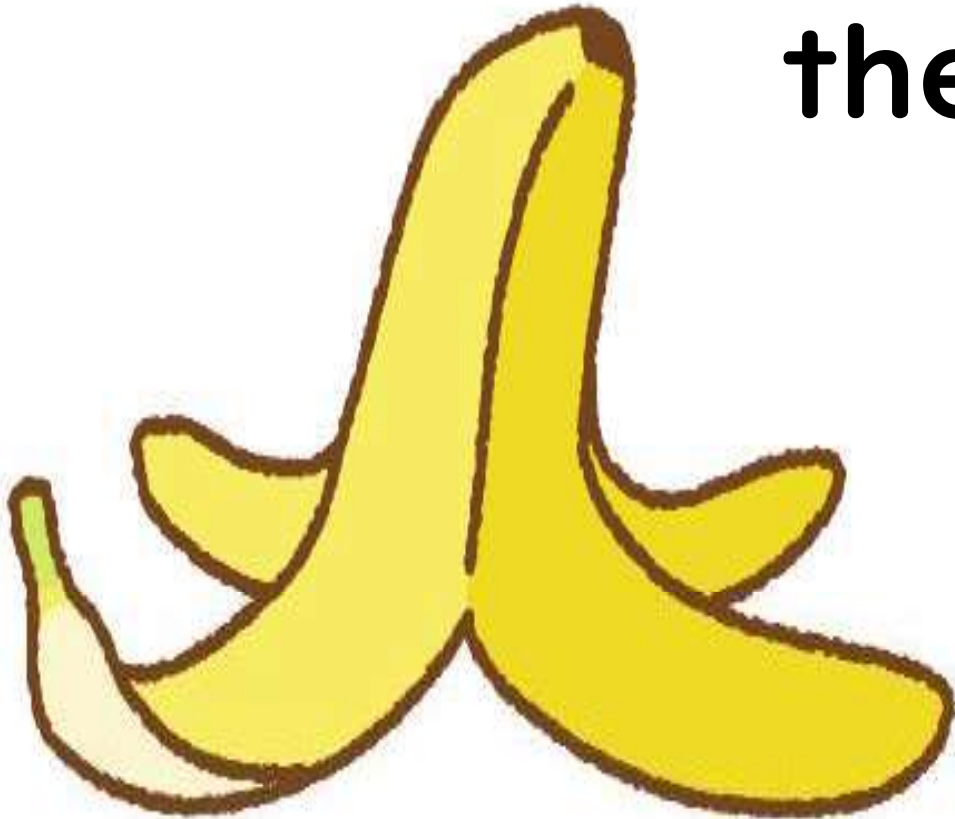






flowers

the part that we eat



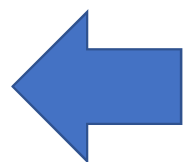
peels



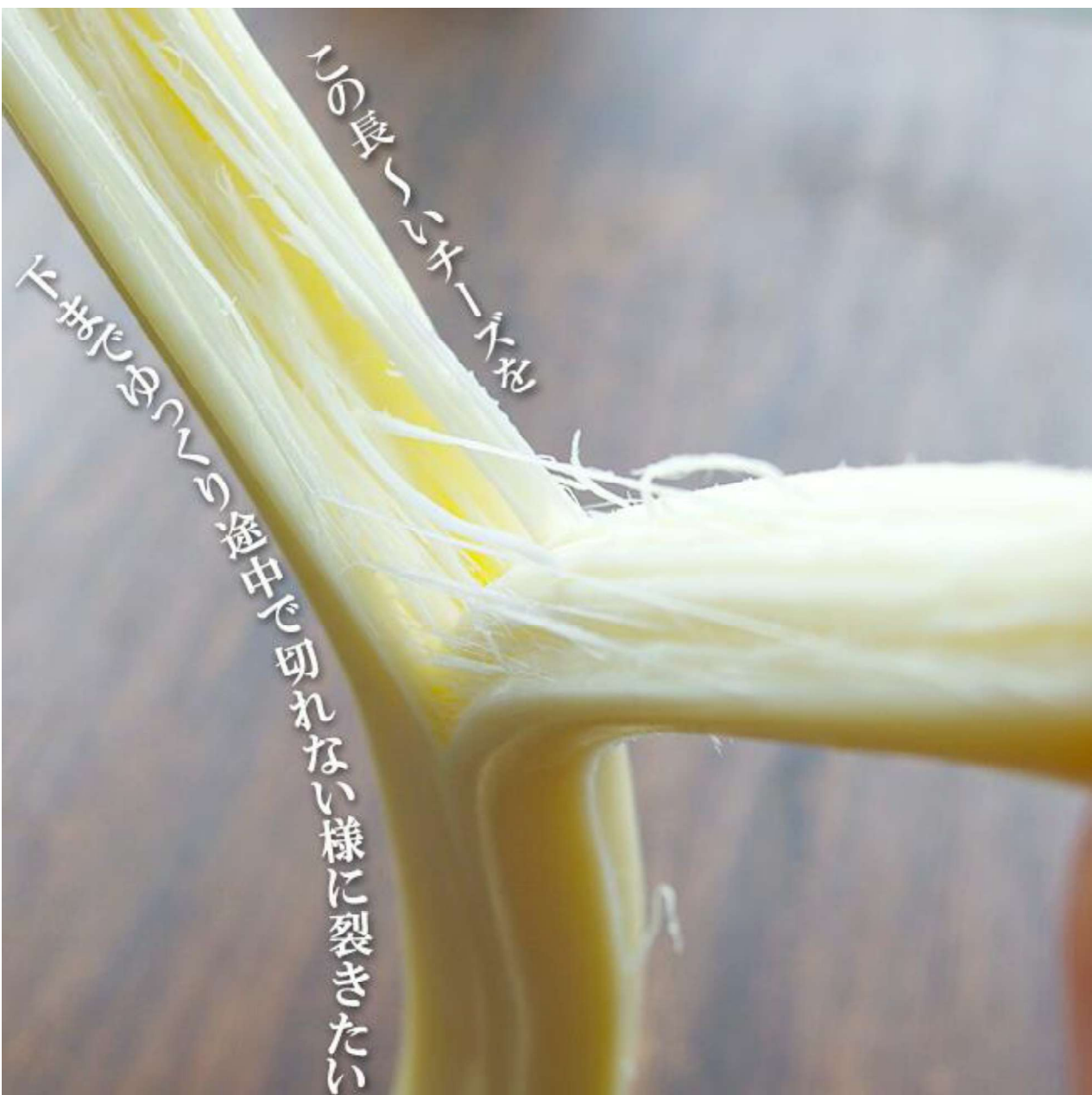


leaves

さけるチーズ



繊維状組織



banana stems=纖維狀組織













<Some Interesting Facts about Bananas>

○バナナについて新しく知った事実を表している文に下線を引きましょう。

Bananas are one of the most popular fruits not only in Japan but also all over the world. Their yellow color, their sweet taste, and their unique shape are familiar to everyone.

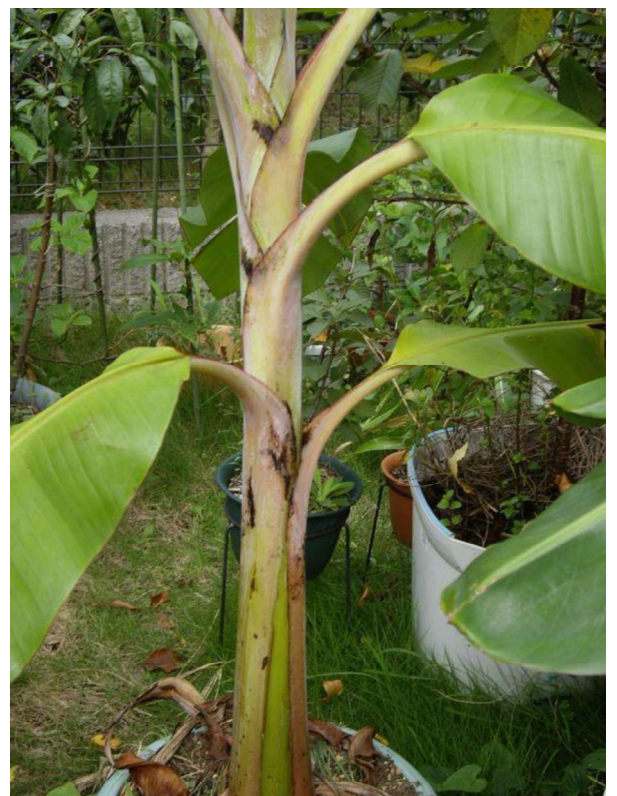
What else do you know about them?

Here are some facts about bananas. Almost all the bananas that are eaten in Japan come from foreign countries. The name comes from the Arabic word *banan* for finger. Bananas do not grow on trees, but on huge herbs.



『Power On!』 東京書籍

注) unique 独特な shape 形 be familiar to ~
~に良く知られている fact 事実 Arabic アラビアの
huge herbs 巨大な草



<A Surprising Fact about Bananas>

○バナナのどの部分から紙が作られるのでしょうか。

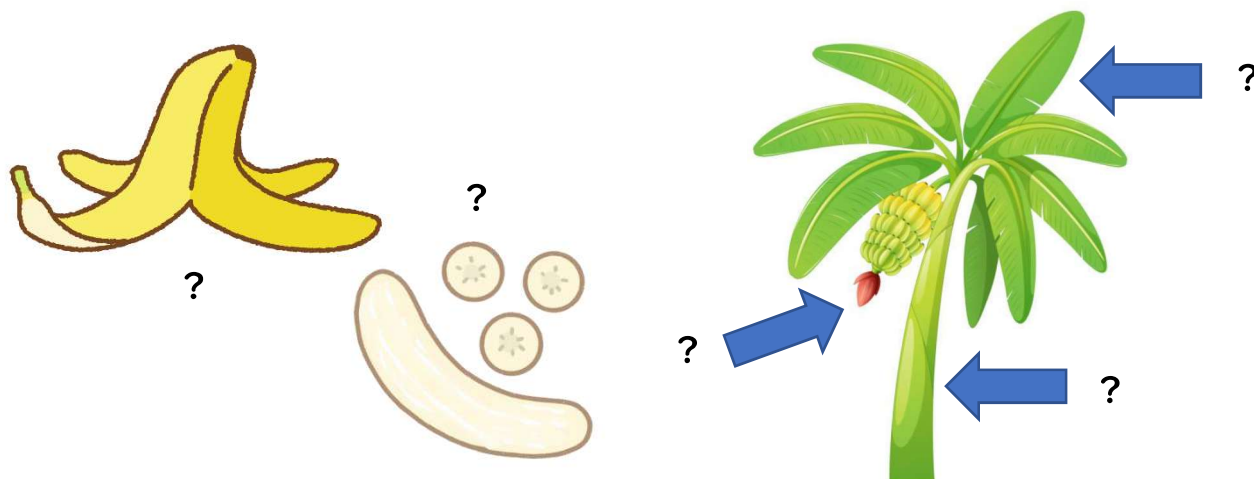
You can make paper from bananas. However, it is not made from the part of bananas that you eat, but from banana stems.

Bananas grow on stems just once. After the bananas are harvested, stems are usually thrown away as waste. But now the stems are turned into fibers and sent to Japan. Then they are made into beautiful paper with techniques for making *washi*. Japanese traditional techniques have changed banana stems from waste into a sustainable resource.

Now some Japanese companies have begun selling banana paper products such as business cards and notebooks.

注) grow 育つ harvest 収穫する throw away ~を捨てる waste 廃棄物 fibers 繊維状のもの、細い糸
technique テクニック、技術 traditional 伝統的な sustainable 持続可能な resource 資源
company, companies 会社 product 製品 business cards 名刺

『Power On!』 東京書籍



内容理解 (Banana Paper)

3- NAME

(1) 英文を読み、その内容に合うように、次の各問いに答えましょう。グループで協力して答えをみちびき出しましょう。

1. Which part of bananas is used to make paper?

2. How are the stems made into paper? 次の()内に適切な語を書き入れましょう。

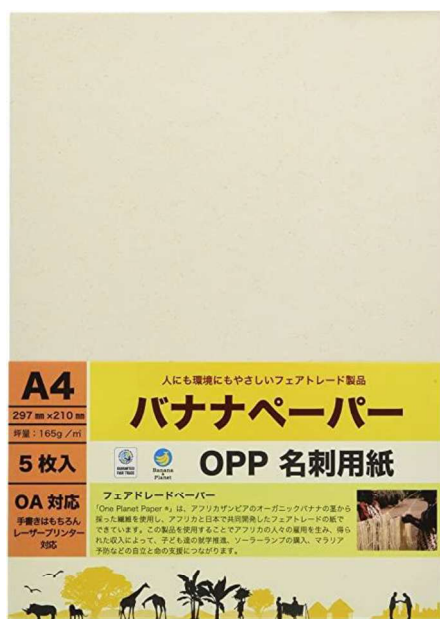
People turn the stems into (), dry them and () them to Japan.

In Japan, people make the fibers into paper with () for making *washi*.

3. 日本の伝統的な技術が()を()に変えたということ。

↓

What do you think about this?



<Banana stems fibers come from an African country, Zambia> No.4

○ザンビア、エンフエ村の数年前までの様子はどうだったのでしょうか。

The fibers for Japanese banana paper come from Mfuwe Village in a national park in Zambia. Elephants, giraffes and other wild animals live in the park. Until a few years ago, the villagers had few jobs, and they faced various problems: poverty, a lack of education and illegal hunting of wild animals.

注) Mfuwe Village エンフエ村 until ~まで face 直面する、向き合う various 様々な poverty 貧困 lack 不足

『Power On!』 東京書籍

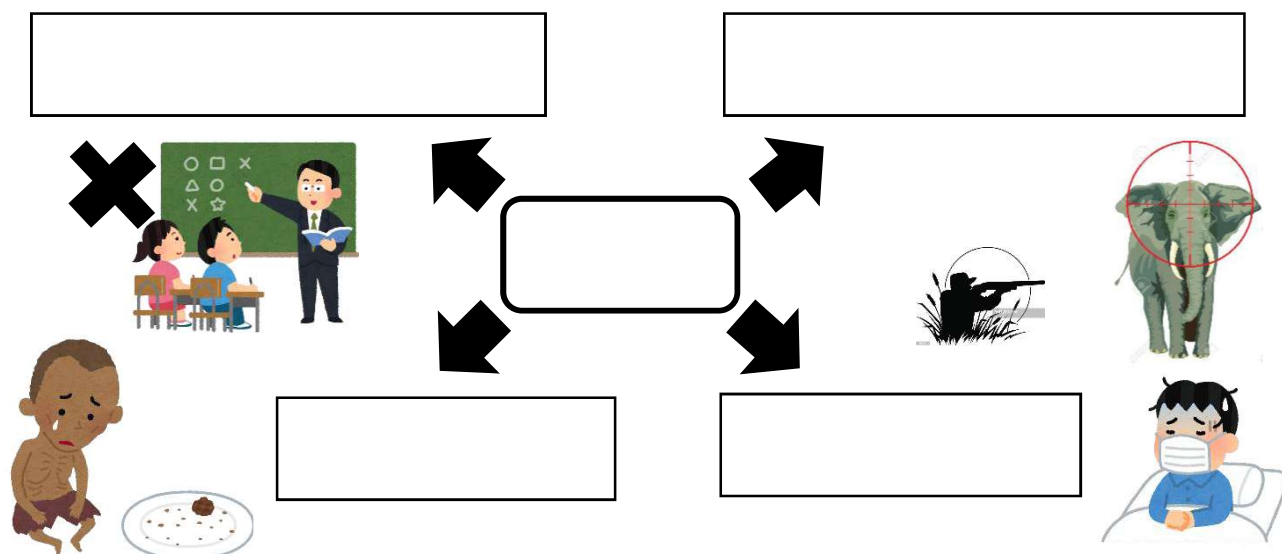
1. エンフエ村はどんな場所にあるのですか。

2. エンフエ村は数年前まで、どのような状況でしたか。

①

②

3. “various problems”の内容を説明しましょう。



<What are the good points of the project for Mfuwe Village?> No.5

○バナナペーパー事業は、エンフエ村にどのような変化をもたらしたでしょうか。

NAME

In 2011, a Japanese company started a banana paper project in Mfuwe Village. The project has helped the villagers with their problems. ①They have got jobs from the project, and now ②their children can go to school. Also, ③they do not have to hunt wild animals for money. In this way, the project has improved the villagers' lives. Wild animals are protected from illegal hunting, and they can live safely.

Thanks to the banana paper created through Japanese techniques, life in the village has become better and better.

注) project 事業、プロジェクト improve 向上させる、より良くさせる thanks to～ ～のおかげで
create 創り出す

『Power On!』東京書籍

1. The project has helped the villagers with their problems. とあります。問題解決のためにどのような手助けとなったのでしょうか。

①

②

③



Life in the village has become better and better.
Wild animals are protected from illegal hunting.

2. このプロジェクトの良さは何でしょうか。グループで考えを出し合った後で、自分が考えたことや思ったことを書きましょう。

.....

.....

.....